

## 東京のがんばる農業応援バスツアー

東京都には、都市化の波と戦いながらがんばっている農家がたくさんあります。武蔵村山の彩り豊かな秋の農地を訪れ、農業者との交流を行い、東京の農業の未来を語り合いました。

< 広大な多摩開墾 >



日時：11月22日(金) 9:00出発 15:00解散

参加者数：消費者36人、引率スタッフ12人

### ●当日スケジュール

- 9:00 JR 立川駅北口 立川市女性総合センター前集合
- 9:05 出発
- 9:40～10:30 小林利夫さんのミカン畑 (中藤)  
果樹生産のお話の後、みかん狩り
- 10:45～11:20 福島昭宏さんの畑 (三ツ藤)  
ブロッコリー等野菜生産のお話
- 11:35～12:05 加園忠雄さんの畑 (残堀)  
ホウレンソウ・小松菜等 野菜生産のお話
- 12:15～14:00 交流会
- 14:30～14:50 直売所見学
- 15:00 解散 (立川駅周辺)

### 農地見学

当日は、秋晴れのいいお天気でした。車中やミカン畑から、山頂に雪をかぶった富士山がきれいに見えました。

### 小林利夫さんのミカン畑

小林さんが就農した当初は花きを栽培していたそうです。その後お父様の果樹園を引き継ぎ、今は果樹専業です。約100アールの耕地で、ご本人・奥様・後継者の三人で、ミカン・ブドウ・キウイなどを栽培しています。ほとんどがご自宅での直販で、ミカンはみかん狩りのみとのことです。ミカンは「宮川早生」(温州ミカン)が主です。武蔵村山市のミカンは昭和30年代に植えたのが最初で、昭和40年代から仲間と生産組合を作り、多いときには20軒以上がミカンを栽培されていましたが、現在は6軒だそうです。参加者は、「はさみを使って、葉っぱをつけないように切り、もう一度芯を切る」とのミカン狩りのコツを聞いて、みかん狩りに挑みました。大

変甘くて美味しく、10個食べた人もいました。

<小林さんとミカン畑>



### 福島昭宏さんの畑

福島さんの畑は市街地にあり、全部で170アールの耕地に、野菜（カリフラワー・ブロッコリー・キャベツなど）やお茶を栽培しているそうです。普段は、工夫しながら一人で農業に従事されていて、お茶の収穫時には奥様が手伝うそうです。野菜はすべて露地栽培で、キャベツ・ブロッコリーは年2回作付、カリフラワーは年1回作付し、畑に水道が無いので、家の井戸からくんでトラックで運んでくるとのことです。出荷・販売先は青梅にある卸売市場への出荷が中心で、市内のJA共同直売所やスーパーへも一部出荷しているそうです。「ブロッコリーの収穫後の根はどうやって抜いているんですか？」という質問があり、「1本ずつ根っこから抜いている」とのことです。大変な労働だな、と驚きました。

<福島さんとブロッコリー畑>



## 加園忠男さんの畑

横田基地（福生市）に隣接した地域に『多摩開墾』と呼ばれる大規模農地が広がっています。面積は54.8ヘクタールでおよそ東京ドームの12個分です。加園さんの畑はその一面にあります。経営耕地面積は約100アール、主にほうれん草と小松菜を、ご本人と奥様で栽培されています。多摩開墾には基本的に水が無く、横田基地向け水道管から水の供給を受けているそうです。納入先は主にスーパーで、地産コーナーで販売しているとのこと。訪問した時は、年末年始に向けて、ほうれん草と小松菜をハウスで育てているところでした。有機肥料栽培を進めていて、化学肥料の使用は、東京都の基準を順守し極力少なくしているそうです。多摩開墾は実際に行ってみるとその広さが実感できます。道路も農作物に影響するとのことで、中の道路は舗装されていず、昔懐かしい土の道路が続いており、農業委員会がやさしい運転を心がけるよう呼びかけているそうです。このような環境のもとで、作物が大事に育てられていることがわかります。

<加園さんと多摩開墾の畑>



## 昼食・交流会

農地訪問の後は、武蔵村山市街地の「武蔵着物センター」で食事をとった後、農業者と消費者が一緒に6テーブルに分かれて交流会を行いました。（参加者：合計65人／バスツアー参加者、農業者13人、行政2人、準備スタッフ2名）

どのテーブルも話が途切れることなく、農業者から消費者へ、消費者から農業者へ活発な質問・意見交換がなされていました。実際に畑を見た後で、消費者からは作物を栽培する際の苦労話、水の調達や消毒、販売方法、後継者問題等、具体的な質問がされていました。

農業者からは「消費者の皆さんはどのような食物を求めているか？」と問いかけがあり、「安心・安全な食物が一番。生産者の顔が見えていると信頼できるので、今日のような機会があると安心できる」との声が多く聞かれました。

今回参加された消費者の参加動機、住所は様々でしたが、皆さんから、「東京にミカン園やこのよ

うな広大な畑があり、農家の方々がこんなに頑張っているのは知らなかった。これから応援していきたい」という意見がありました。

<交流会>

